



極細線金属メッシュの製造を極める

アサダメッシュ株式会社

鹿児島工場 工場長 松尾 満彦

アサダメッシュ株式会社は1940年に大阪府松原市で創業した金属メッシュメーカーです。1974年には薩摩川内市祁答院町黒木に工場を設立し、昨年で鹿児島工場設立50周年を無事迎えることができました。

弊社は網目の細かな金属メッシュを製造するのが得意です。メッシュの細かさを表現するメッシュ数(1インチ(25.4mm)間にある穴の数)という単位でいうと、最も粗いメッシュで62メッシュ、最も細かいメッシュで977メッシュです。

身の回りにある金網のメッシュ数は、ザルが12-30メッシュ、茶漉しが40-200メッシュなので、かなり細かなメッシュを製造していることが分かります。メッシュの種類は100種類以上あり、幅広い細かさのメッシュを製造しています。今では金属メッシュ業界の中でも特に細かな金属メッシュを織っている弊社ですが、元々は河内木綿を製造・販売する呉服屋でした。河内木綿の織技術を伝承し、材料を木綿から金属線に切り替え、どんどん細かなメッシュを製造していくようになりました。現在使用している最も細い金属線は髪の毛(80 μ m)の約9分の1程度の太さである9 μ mです。強く引っ張ったら、髪の毛のように簡単に切れてしまうのですが、絶妙な調整によってこれだけ細い線でも金属メッシュを織ることができています。

当社が製造している金属メッシュは、次のような用途で使われています。

【スクリーン印刷】

メッシュの孔からインクが通るところと通らないところを作り、版として使われています。主に太陽電池や積層セラミックコンデンサ(MLCC)の電極印刷の際に使用されています。

【ふるい(篩)】

ハンダ粉末やシリカなど工業用粉体をふるい分けるのに使用されています。

【フィルター】

耐熱性や耐食性を生かして自動車オイルフィルターやガスフィルターのろ材として使用されています。

【デザイン】

柔軟性や審美性を兼ね備えたメッシュを建築の装飾材として、またプロダクトやファッションの素材としても使用されています。

用途が様々なため、メッシュの特性評価をしなければいけないこともあります。これまでメッシュの摩耗試験、濡れ性試験、腐食試験等でも工業技術センター様には大変お世話になってきました。分析・評価が出来たことでお客様の満足度も向上し、採用に繋がったこともあります。また、設備をお借りするだけでなく、サポートしていただけることが多いため、学びも多く、大変感謝しております。



鹿児島工場外観



金属メッシュ/試験用ふるい/フィルター/スクリーン版